



横浜市立田奈小学校
学校だより

平成27年 5月 1日

5月号



みのたなくん

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/tana>

校長 二瓶 光代
Tel 045-981-0009

「なかよく生きる人」の輪

校長 二瓶 光代

中休みが終わると渡り廊下は、外遊びから教室に戻る子ども達でいっぱいになります。楽しく遊んだ満足感からみんな笑顔で、足取りも軽やかに教室に向かっています。その中で一人、名札を胸に付けているのですがすぐに一年生と分かりましたが、曇った表情でゆっくり歩いている子がいました。その子は、渡り廊下からつながる第一校舎の長い廊下のところにきて左右を何度も見ていました。図書室に行ってはみたものの教室に帰る方向が分からなくなったようでした。

「どうしたの？迷ったの？」

私が話しかけていると、偶然そばにいた高学年の子が、その一年生の様子に気づき教室まで送って行くと申し出てくれました。躊躇することなく相手を思いやる行動をとることができた子どもにすがすがしさを感じながら、歩き始めた二人の後姿を見てみると、

「これで大丈夫だね。あの一年生は、登校班で一緒の子なの。」

こんな声が聞こえてきました。一部始終を見ていた三年生の安堵の声です。困っている人を一瞬のうちに見つけ、解決に向けて手助けしたり、気遣ったりできる「なかよく生きる人達」を、この日も見つけました。付き添って行った高学年の



【田奈小の八重桜】



【広大な田奈っ子菜園】

地域の方のご協力とともに全職員で畝作り

子どもは、人の役に立つことができた自分の成長に気づき、また人の役に立ちたいと考え行動することでしょう。高学年の優しい姿を見た三年生は、自分もそうありたいと願うことでしょう。そして、優しさをもらった一年生は、その優しさを今度は自分から他の人に分けてくれることと思います。こうして、学校のいろいろな場面で学校教育目標「なかよく生きる人」（共に生きる子ども）の輪が広がっていくことを望んでいます。